

2008年10月29日

モナコ政府観光会議局、日本事務所を再開設

観光マーケティング企業、アビアレップス・マーケティング・ガーデン社に委託

モナコ政府観光会議局（本局：モナコ公国／局長：ミシェル・ブキエ）は本年10月1日付けにて、観光マーケティング／広報会社、アビアレップス・マーケティング・ガーデン株式会社（本社：東京、新宿区／代表取締役：早瀬陽一）に、日本における事務所運営を委託し、日本事務所を再開設いたしました*。今後、モナコ政府観光会議局日本事務所では、MICE（Meeting, Incentive, Convention, Exhibition = 会議、インセンティブ、イベント）デスティネーションとしてのモナコ公国の認知度を高めるべく、広報活動および旅行業界や一般企業に対する積極的なマーケティング活動を展開してゆく予定です。

※ 以前にモナコ政府観光会議局の日本事務所を代行していた企業との契約は昨年末で終了していました。

モナコ政府観光会議局の MICE 誘致への取り組み

1974年の開設以来、モナコ政府観光会議局は、海外からのビジネス渡航客の誘致に取り組んできました。その結果、最近では2003年から2007年までの5年間で、ビジネス目的の宿泊数が43%増加し、観光目的の宿泊数の伸び率（39%）を上回りました。

モナコ政府観光会議局は、同局が直接、世界各国の会議主催者からの要望に対応するという先駆的体制を構築しました。常勤の9人の専門家チームが、案件の大小にかかわらず、無料かつ公正に、ホテルやコンベンション会場などモナコ公国内の企業・団体と会議主催者の間の橋渡しを行います。また、「Monaco Mee+ing」「Monaco Incentive」「Monaco Board Meetings」といった会議・イベントプランを開発し、イベントの計画から催行まで、一貫したサポートサービスを提供しています。

国土の狭いモナコ公国における会議や展示会の会場とその周辺では、開催者の存在感がひととき目立ちます。“Need a venue? We offer you a country.”という観光会議局のメッセージは、モナコ公国が国を挙げて会議や国際的展示会の成功を約束するというメッセージであると同時に、コンパクトな公国だからこそ提供できる、親密でプライベートなサービスの魅力を表しています。

この件に関するお問い合わせは
モナコ政府観光会議局 日本事務所
(担当：渡辺・青木)
TEL:03-3225-1175
FAX:03-3225-0071

MICE デスティネーションとしてのモナコ公国

【面積】

2.02 km² (皇居の敷地の2倍)

【人口】

37,200 人

【アクセス】

- ニース・コートダジュール国際空港から 22 キロ～海岸沿い県道を車で約 30 分
- パリから、TGV にて 5 時間 30 分
- モナコ/モンテカルロ駅とフランス・イタリア方面を鉄道が結ぶ
- ニース-コートダジュール国際空港からモナコヘリポートまで 6 分

【主なコンベンション施設】

総面積 35,000 m²、3 つの本会議場、10,000 m²の展示エリアと近代的な設備を有する「グリマルディ・フォーラム」が 2000 年にオープン。同施設は、2007 年にイギリスのビジネス旅行誌「Meeting & Incentive Travel」により、4 度目の“海外最優秀コンベンション・センター”に選ばれている。その他の主な施設は、「エスパース・フォンビエイユ」、「オーディトリウム・レニエⅢ」、「CRI」、「ル・スポルティンク・モンテカルロ」、「スポルティンク・ディペール」、「テクノポール」など

【主なコンベンション施設総面積】

48,444 平方メートル*

【主なコンベンション施設最大収容人数】

14,270 人*

【年間開催会議数】

635 (2007 年)

【ホテル客室数】

2,773 室

ホテルの収容可能人数の総数は、2003 年から 2007 年までの 5 年間で 28% 上昇。

【公国中心地の施設】

パラスホテル (8 軒)、ブティック (数 100 店舗)、カジノ (3 軒)、レストラン (60 店舗以上)、温水プール (4 箇所)、映画館、ナイトクラブ、ディスコ

出展 : Monaco en chiffres (2008 年 モナコ公国財務経済省) など

※ 上記 8 施設の合計